

令和7年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第6学年児童生徒を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 図表などを用いて、考えが伝わるように工夫した書き表し方を選択することができている。
- 時間的な順序や事柄の順序を考えながら、内容の大体をとらえて読み取ることができている。
- 目的に応じて、文章と図表などを結び付けて必要な情報を読み取ることに課題がある。

【算 数】

- 小数や分数についての計算力が身に付いている。
- 伴って変わる2つの数量の関係に着目し、必要な数量を見いだすことが理解できている。
- 異分母の加法について、共通する単位分数のいくつ分かという見方・考え方で説明することに課題が見られる。

【理 科】

- 実験結果や問題のまとめをもとに、他条件での結果を予想する力が身に付いている。
- 電磁石を強くする方法についての知識をもつことができている。
- 差異点や共通点をもとに、新たな問題を見いだして表現する力に課題が見られる。

2 児童質問紙に関する結果の概要

- 朝食を食べたり同じくらいに就寝・起床したり、規則正しい生活習慣が身に付いている。
- 読書が好きで、本を読む時間をとるように意識している。
- 自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表しようとする意識に課題がある。

3 評価と今後の取組

(1) 教科に関する取組

① 効果があった取組

- ・ 全校での漢字と計算の統一テストを実施、およびそれに向かうまでの取組
- ・ 国語や算数で、定着が不十分だった内容を重点的に指導
- ・ 給食準備中を活用し、つまづいた内容に対する個別指導

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・ 自分の考えを表現する力を育む国語科学習の展開
- ・ 算数科の重点単元における、単元末の少人数指導

(2) 児童質問紙の内容に関する取組

① 効果があった取組

- ・ 学校から家庭への啓発やPTAの「早寝早起き朝ごはん」の取組
- ・ 保護者による読み聞かせおよび図書司書による読書推進の取組

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・ 全員発表の全校取組にあわせた、授業展開の工夫
- ・ 音読の機会を増設